

詳細目次

第一部 特許権をめぐる判決	1
【1】「塩酸ゲムシタピン製造方法」特許侵害事件	3
第一章 はじめに	3
第二章 事案の概要	3
第三章 争点の解説	4
1. 争点と一審の判断の概要	4
2. 上訴の理由	5
第四章 人民法院の判断	6
1. 一審判決の問題点	6
2. 「証拠に対する質疑を行う権利」と「営業秘密」の法規定による調整 ..	6
3. 証拠に対する質疑の必要性和、秘密漏洩防止策の存在	7
4. 鑑定機構による鑑定結論は証拠能力なし	8
5. 結論	8
第五章 評釈	9
1. 「証拠に対する質疑を行う権利」と「営業秘密」の調整	9
2. 最高人民法院判決における両利益の調整の手法	11
3. 日本における特許法等の最近の法改正の動向	12
4. 最高人民法院判決に対する評価	16
5. 日本企業が実務上留意すべき点	18
第六章 判決の全文訳	20
【2】「排ガス脱硫方法」特許侵害事件	25
第一章 はじめに	25
第二章 事案の概要	25
第三章 争点の解説	27
1. 権利侵害	27
2. 第二被告に特許権侵害の責任があるか	28
3. 信義誠実の原則	28
4. 請求賠償額の変更	28
5. 侵害行為の中止	28

第四章	人民法院の判断	29
1.	権利侵害	29
2.	第二被告に特許権侵害の責任があるか	29
3.	信義誠実の原則	29
4.	請求賠償額の変更	30
5.	侵害行為の中止	30
第五章	評釈	30
1.	侵害の差し止めを命じなくてもよい場合	30
2.	非侵害の主張	33
3.	民事責任について	34
第六章	判決の全文訳	35
【3】「スプリングヒンジ製造方法」特許侵害事件		65
第一章	はじめに	65
第二章	事案の概要	65
1.	事実の概要	65
2.	一審の概要	68
第三章	争点の解説	71
第四章	人民法院の判断	71
1.	一審法院が認定した事実	71
2.	一審法院の認定	72
3.	一審判決	72
4.	二審	73
第五章	評釈	75
1.	本件の訴訟の管轄法院について	75
2.	被告が展覧会にて本件に係る製品を展示した行為は販売の申出及び 本件特許の侵害を構成するか否かについて	76
3.	立証責任の分担、法院の自発的な調査及び証拠収集の問題について	77
4.	特許請求の範囲の解釈及び侵害行為の判定について	79
5.	特許権者敗訴の原因は訴訟における適切な証拠戦略を欠いたこと	83
第六章	判決の全文訳	85
【4】「携帯電話自動隠しタイリング紛失通報方法」特許侵害事件		101
第一章	はじめに	101

第二章	事案の概要	101
第三章	争点の解説	102
1.	一審裁判の争点	102
2.	二審裁判の争点	103
3.	事実関係	103
第四章	人民法院の判断	106
第五章	評釈	107
1.	特許権侵害判断における禁反言原則の適用	107
2.	不完全利用に関する均等論の適用	109
3.	侵害訴訟手続き中止の判断	110
4.	終わりに	111
第六章	判決の全文訳	112

第二部 実用新案権をめぐる判決 123

【5】「コンクリートの薄壁筒体」実用新案権侵害事件 125

第一章	はじめに	125
第二章	事案の概要	126
1.	事実の概要	126
2.	訴訟の経緯	129
第三章	争点の解説	130
1.	再審請求人の訴え	130
2.	被請求人の答弁	131
第四章	人民法院の判断	133
1.	「筒底壁層構造」が実用新案の必須技術的特徴であるか否か	133
2.	被疑侵害品の筒管部分の「1層のガラス繊維布」が実用新案の 対応する技術的特徴の均等な特徴に属するか否か	134
3.	本件に謝罪という責任の負いかたが適用されるか否か	134
4.	結論	135
第五章	評釈	135
1.	実用新案の保護範囲の認定	135
2.	多余指定の原則	141
3.	謝罪について	146
4.	本事例に対するコメント	146
第六章	判決の全文訳	147

【6】「バーベル・ダンベルセットの手押しケース」実用新案権侵害事件 .. 159

第一章	はじめに	159
第二章	事案の概要	160
1.	事実関係	160
2.	訴訟の経緯	160
第三章	争点の解説	162
1.	侵害の成否	162
2.	損害賠償	163
第四章	人民法院の判断	164
1.	一審法院の判断	164
2.	二審法院の判断	165
第五章	評釈	166
1.	侵害判断	166
2.	損害賠償	172
3.	まとめ	175
第六章	調停書の全文訳	176

【7】「扇風機」実用新案権侵害事件 182

第一章	はじめに	182
第二章	事案の概要	182
1.	事実関係	182
2.	訴訟の経緯	184
第三章	争点の解説	185
1.	被告製品が原告の実用新案権の保護範囲に属しているか	185
2.	原告が一審の提訴時に提出した証拠の有効性など	186
3.	損害賠償額の算定の根拠	186
4.	損害額の算定方法	187
第四章	人民法院の判断	188
1.	調停書の要点	188
2.	判示事項	188
第五章	評釈	189
1.	実用新案権の保護範囲の属否	189
2.	証拠の有効性	189
3.	損害額の算定の基準日（時効の問題）	192

4 . 民事調停書における判示事項	193
5 . コメント	193
第六章 調停書の全文訳	195
【 8 】「回転式補償器」実用新案権侵害事件.....	202
第一章 はじめに	202
第二章 事案の概要	203
1 . 事実関係	203
2 . 本件実用新案と被疑侵害品との対比	204
3 . 第一審判決の概要	205
第三章 争点の解説	206
1 . 第二審における争点	206
2 . 争点の解説	206
第四章 人民法院の判断	207
1 . 上訴人（原審被告）の生産した回転補償器は被上訴人（原審原告） の本件実用新案権を侵害した	207
2 . 第一審で算定された 10 万元の賠償額は妥当である	207
3 . 結論	208
第五章 評釈	208
1 . 本件実用新案権の侵害の該否について	208
2 . 損害額の算定	211
3 . まとめ	212
第六章 判決の全文訳	213
【 9 】「レンジフード」実用新案権侵害事件.....	220
第一章 はじめに	220
第二章 事案の概要	220
第三章 争点の解説	221
第四章 人民法院の判断	221
1 . 一審法院の判断	221
2 . 二審法院の判断	223
第五章 評釈	228
第六章 判決の全文訳	230
付属資料	239

【10】「防火シャッター」実用新案権侵害事件 240

第一章	はじめに	240
第二章	事案の概要	240
	1. 事件の経緯	240
	2. 本件実用新案権の請求の範囲	243
第三章	争点の解説	243
	1. 一審の争点及び判示事項	243
	2. 二審における争点	246
第四章	人民法院の判断	247
	1. 判示事項	247
	2. 判決	249
第五章	評釈	249
	1. 実用新案権の保護範囲の確定について	249
	2. 間接侵害の要件の充足性	252
	3. 無効宣告と訴訟の中止について	257
	4. 登録実用新案の検索報告について	259
	5. 本件登録実用新案の請求項2の内容	260
	6. その他	260
	7. コメント	261
第六章	判決の全文訳	263

【11】「空調器」実用新案権侵害事件 287

第一章	はじめに	287
第二章	事案の概要	287
	1. 原審法院によって認定された事実の概要	288
	2. 訴訟の経緯	292
第三章	争点の解説	293
	1. 二審の争点	293
	2. 上訴人の上訴理由	293
	3. 被上訴人の答弁	294
	4. 各争点の解説	295
第四章	人民法院の判断	309
	1. 二審判決の内容	309
	2. 争点に対する二審法院の判断	310

第五章 評釈	310
1. 請求の範囲の記載をサポートする明細書の記載について	310
2. 公知技術の立証	311
3. 公知技術の抗弁に関連して	311
第六章 判決の全文訳	312
付属資料	327
第三部 商標権をめぐる判決	329
【12】「維納斯」商標侵害事件	331
第一章 はじめに	331
第二章 事案の概要	331
1. 事案の経緯	331
2. 訴訟の概要	332
3. 被告の使用態様	332
第三章 争点の解説	333
1. 原告の主張	333
2. 被告の主張	333
第四章 人民法院の判断	334
1. 第一審法院の判断	334
2. 第二審法院の判断	335
第五章 評釈	335
1. 裁判管轄について	335
2. 第一被告の悪意の有無	336
3. 商品の出所の誤認・混同	337
第六章 判決の全文訳	341
【13】「王子」商標登録取消行政事件	348
第一章 はじめに	348
1. 「抜け駆け」商標登録の存在	348
2. 大規模工場の建設と日本企業の方針	349
3. 事実認定と法律適用	349
第二章 事案の概要	350
1. 事件の発端	350

2 . 被上訴人商標の登録拒絶	351
3 . 上訴人の商標登録状況	351
4 . 商標登録取消請求と行政訴訟の経緯	352
第三章 本件訴訟の争点と各審の判断	353
1 . 本件訴訟の争点	353
2 . 争点についての各審判断の整理	354
3 . 各審の判断理由詳細	354
第四章 評釈	362
1 . 商標法第 15 条【代理人、代表者の不正登録】について	362
2 . 商標法第 41 条第 1 項の適用か、第 31 条、第 41 条第 2 項の適用か	366
3 . 本件に適用すべき法律条項に関する考察	372
4 . 上訴審判決の妥当性	376
5 . 除斥期間について	378
第五章 判決の全文訳	382

【14】「家家」商標登録取消行政事件 397

第一章 はじめに	397
第二章 事案の概要	398
1 . 「家家」商標の登録	398
2 . 2004 年 5 月 24 日付商標評審委員会商評字(2004)第 1812 号紛争裁定	398
第三章 争点の解説	400
1 . 本件の争点	400
2 . 商標評審委員会の商標法 31 条に関する判断	400
3 . 商標評審委員会の結論	401
第四章 人民法院の判断	402
1 . 2004 年 12 月 27 日付北京市第一中級人民法院(2004)一中行初字第 588 号行政判決	402
2 . 2005 年 5 月 8 日付北京市高級人民法院(2005)高行終字第 71 号行政判決	404
第五章 評釈	409
1 . 関連規定	409
2 . 検討	409
3 . 商標法 31 条に関する文献	412
4 . 日本企業が実務上留意すべき点	423
第六章 判決の全文訳	424

【15】「天下秀ドメインネーム」商標侵害事件	444
第一章 はじめに	444
第二章 事案の概要	444
1. 原告の商標権および被告のドメインネーム	444
2. 事件の経緯	445
3. 商標“天下秀”の馳名性に関する証拠	446
第三章 争点の解説	447
1. 原告の第1006807号“天下秀”登録商標が馳名商標であるか否か	447
2. 被告が権利侵害行為を行っているか否か	448
3. 被告が負う民事責任の内容	448
第四章 人民法院の判断	449
1. 原告の第1006807号“天下秀”登録商標が馳名商標であるか否か	449
2. 被告が権利侵害行為を行っているか否か	449
3. 被告が負う民事責任の内容	450
第五章 評釈	450
1. ドメインネームに関わる問題の概要	450
2. 判例の解説	453
第六章 判決の全文訳	463
付属資料	476
【16】「壹枝筆」煙草商標侵害事件	480
第一章 はじめに	480
第二章 事案の概要	480
1. 頤中煙草集団による「壹枝筆」商標の登録	480
2. 原告（頤中煙草集団）の主張立証	482
第三章 争点の解説	482
第四章 人民法院の判断	483
第五章 評釈	483
1. 在先権侵害との判断	483
2. 馳名商標の認定方法について	484
3. 被告の行為が権利侵害を構成するか否かの判断	487
第六章 判決の全文訳	490

【17】「ナイキ」商標侵害事件	507
第一章 はじめに	507
第二章 事実の概要	507
1. 事実関係	507
2. 本案件の概要	508
第三章 争点の解説	510
1. 原告の主張	510
2. 被告の答弁	510
3. 争点	511
第四章 人民法院の判断	511
第五章 評釈	512
1. 商標権の侵害に対する判断について	512
2. 損害賠償の判断について	515
3. 終わりに	515
4. 追記	517
第六章 判決の全文訳	519

第四部 著作権をめぐる判決

525

【18】「方正RIP等ソフトウェア」著作権侵害事件	527
第一章 はじめに	527
第二章 事案の概要	528
1. 原告、被告の行為	528
2. 第一審、第二審の判断	529
第三章 争点の解説	530
1. 「おとり収集方法」は合法か否か	530
2. 被告の行為は著作権侵害となるか	530
3. 損害賠償額の算定基準	531
4. 関連費用をいかに負担すべきか	531
第四章 人民法院の判断	531
1. 「おとり収集方法」は合法か否か	531
2. 被告の行為は著作権侵害となるか	532
3. 損害賠償額の算定基準	532
4. 関連費用をいかに負担すべきか	532

第五章 評釈	533
第六章 判決の全文訳	535
【19】「レゴブロック」の著作権侵害事件	548
第一章 はじめに	548
第二章 事案の概要	549
1. 事件の経緯	549
2. 第一審における提訴理由	550
第三章 争点の解説	551
1. 一審法院の争点	551
第四章 人民法院の判断	552
1. 一審法院の判断	552
2. 第一審判決（北京市第一中級人民法院）	553
3. 二審法院の判断	553
4. 第二審判決（北京市高級人民法院）	554
第五章 評釈	555
1. 応用美術の著作物について	555
2. 保護法域について	556
3. 訴訟代理人について	558
第六章 判決の全文訳	559
付属資料	582
【20】「青猫」アニメーション著作権侵害事件	585
第一章 はじめに	585
第二章 事案の概要	586
1. 事件の経緯	586
2. 「わんぱく猫」の概要	587
3. 「青猫」、「わんぱく猫」及び「10万個のなぜ」の関係	588
第三章 争点の解説	589
1. 著作権の所在・著作権侵害の成否	589
2. 出版、複製及び販売にかかる合法的な授權の有無、合理的な注意義務 ..	589
第四章 人民法院の判断	590
1. 著作権の所在・著作権侵害の成否	590
2. 出版、複製及び販売にかかる合法的な授權の有無、合理的な注意義務 ..	590

第五章	評釈	591
1.	著作権者の認定	591
2.	発行権侵害の成否について	593
3.	被告三者の証明責任、出版社の注意義務	596
4.	修正権及び同一性保持権について	599
第六章	判決の全文訳	602
第五部 不正競争をめぐる判決		609
【21】「84」不正使用に係わる不正競争紛争事件		611
第一章	はじめに	611
第二章	事案の概要	611
1.	事実関係	611
第三章	争点の解説	613
1.	一審の判断	613
2.	最終審の争点	613
第四章	人民法院の判断	614
1.	周知商品特有の名称	614
2.	訴訟主体適格	615
3.	判決	615
第五章	評釈	615
1.	不正競争防止法5条2号	615
2.	まとめ	618
第六章	判決の全文訳	619
【22】商業信用毀損事件		627
第一章	はじめに	627
第二章	事案の概要	627
1.	事実関係	627
2.	一審の結論	629
第三章	争点の解説	629
第四章	人民法院の判断	630
第五章	評釈	630
1.	反不正当竞争法上の商業信用毀損行為について	630

2 . 民法上の法人名誉権侵害行為について	637
3 . 小括	640
第六章 判決の全文訳	642
【23】「立邦」商標権侵害及び不正競争紛争事件	648
第一章 はじめに	648
第二章 事案の概要	648
1 . 原告の商標権	648
2 . 被告の商号権	649
3 . 本件の時系列	649
第三章 争点の解説	651
1 . 第一審における原告の主張	651
2 . 第一審における被告の主張	651
3 . 第一審争点及び判決	651
4 . 上訴の理由	652
5 . 第二審の争点	652
第四章 人民法院の判断	653
第五章 評釈	653
1 . 著名商標の認定	653
2 . 商標と商号との抵触問題	654
3 . 終わりに	659
第六章 判決の全文訳	660
【24】マクセル包装デザイン模倣登用に係わる不正競争紛争事件	678
第一章 はじめに	678
第二章 事案の概要	679
1 . 事実関係	679
第三章 争点の解説	681
1 . 一審での争点	681
2 . 最終審での争点	681
第四章 人民法院の判断	681
1 . 一審の判示事項	681
2 . 最終審の判示事項	684
第五章 評釈	685

1 . 外国人（日本企業）の権利主体適格	685
2 . 反不正競争法 5 条 2 号	686
3 . 損害賠償	690
4 . 時効	691
5 . まとめ	692
第六章 判決の全文訳	693
付属資料	716
【25】「P O L O」不正使用に係わる不正競争紛争事件	717
第一章 はじめに	717
第二章 事案の概要	717
1 . 原告の商標使用	717
2 . 商標のサブライセンス	718
3 . 被告らの係争商品販売行為	720
第三章 争点の解説	721
1 . 原告適格：権利主体ないし訴訟行為の主体足り得るか	721
2 . 被告らの権利侵害行為：不正競争行為の成否	722
3 . 損害賠償：本件での損害賠償額の算定方法	722
第四章 人民法院の判断	722
1 . 原告適格について	722
2 . 不正競争行為の成否について	723
3 . 損害賠償の算定方法について	725
第五章 評釈	725
1 . 原告適格について	725
2 . 不正競争行為の成否について	726
3 . 損害賠償の算定方法について	727
4 . 終りに	729
第六章 判決の全文訳	730
第六部 その他の判決	741
【26】技術ライセンス契約の紛争事件	743
第一章 はじめに	743
第二章 事案の概要	744

第三章 争点の解説	746
1. 一審判決の概要	746
2. 上訴の理由	747
3. 上訴審における被上訴人の主張・反論	747
第四章 人民法院の判断	748
1. 二審判決の争点	748
2. 二審判決の要旨	749
第五章 評釈	749
1. 契約法 329 条の解釈について	749
2. 被上訴人の詐欺の成否	754
3. 一審判決の結論の妥当性	755
4. 訴訟手続上の問題について	756
5. 終りに	757
第六章 判決の全文訳	758

【27】機械設備の図面の流出をめぐる営業秘密侵害(刑事)事件 765

第一章 はじめに	765
第二章 事案の概要	766
第三章 争点の解説	768
1. 一審の争点	768
2. 二審の争点	769
第四章 人民法院の判断	769
1. 一審の判断	769
2. 二審の判断	771
第五章 評釈	772
1. 営業秘密侵害罪の構成要件等について	772
2. 刑事訴訟における附帯民事訴訟について	777
3. 損害賠償金額の計算について	778
4. 小括	779
第六章 裁定の全文訳	782